

3 保護者アンケート集計結果・考察

年度ごとの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合計した割合を示す。

◎は5ポイント以上の上昇 ○は5ポイント未満の上昇

－は1ポイント未満の増減

△は5ポイント未満の下降 ×は5ポイント以上の下降 を示す。

問1 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。

R3 78.3% R4 77.9% R5 78.8% (－)

児童の学習意欲について、十分でないと考えている保護者の方が2割程度いる。わかる授業・楽しい授業を展開するよう授業改善に努めてまいりたい。また、「家庭学習のてびき」や「家でもしっかり学習しよう週間」等を活用し、家庭との連携を図りながら、家庭学習習慣の確立にも努めたい。

問2 子どもの学力の状況はよくわかっている。

R3 94.0% R4 90.4% R5 94.9% (○)

肯定的な回答割合は9割を超えており、児童の学力状況はよく理解されている。今後も、学校での学習・生活の様子を保護者に伝え、家庭との連携を図りながら、学力向上に努めていきたい。

問3 学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる。

R3 91.5% R4 84.7% R5 92.9% (◎)

一人一台端末により個別最適な学びが実現できつつある。今後も、授業改善を図るとともに、次年度はAIドリルやコグトレを導入し、各教科の基礎・基本を定着させ、学力向上に努めたい。

問4 学校は、子どもの体力づくりに熱心に取り組んでいる。

R3 84.3% R4 80.8% R5 89.9% (◎)

今年度も、放課後の体操練習や水泳練習、陸上運動などに取り組むことができた。体育科の授業での運動量の確保はもとより、全校遊びや体力づくりの機会を設け、休み時間等における活動の充実を図り、児童の体力づくりに努めたい。

問5 学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる。

R3 90.4% R4 81.7% R5 90.9% (◎)

研修をとおして、教職員の力量を高めるとともに、家庭と連携し、学習規律の定着に取り組みたい。オンライン学習なども充実させていきたい。

問6 子どもは、家庭学習（宿題）をきちんとしている。

R3 92.8% R4 84.6% R5 81.8% (△)

「家庭学習のてびき」や「家でもしっかり学習しよう週間」等を活用し、家庭との連携を図りながら、家庭学習習慣の確立に努めていきたい。オンライン学習なども充実させていきたい。

問7 子どもは、自分のいいところを理解している。

R3 66.3% R4 74.1% R5 76.8% (○)

肯定的な回答割合は昨年度より増加している。学校や家庭においては、褒める、話しかける、話を聞く、認める場面をつくることで、自己肯定感を高めさせる取り組みをお継続していきたい。

- 問8 子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている。
R3 93.9% R4 93.3% R5 94.9% (○)
 肯定的な回答割合はほぼ同様であるが高いままである。今後も続けられるよう自己有用感を、学校・家庭において育てていきたい。
- 問9 子どもは何事にも粘り強く取り組む。
R3 53.1% R4 56.8% R5 70.7% (◎)
 急激に伸びている。コロナが5類に移行されたことで子どもたちの活動場面の制限が少なくなったことが原因と考えられる。学校もそうした子どもたちがやり抜く力を育てられる活動をどんどん取り入れたい。
- 問10 子どもが粘り強く取り組めるよう、家庭でも応援している。
R3 85.5% R4 91.4% R5 90.9% (－)
 困難な状況に直面したときに、自ら問題を発見し解決する力や生涯にわたり学び続ける力、他者と力を合わせて乗り越え、失敗してもその経験を今後の糧とする、たくましさとしなやかさを身につけられるよう、家庭と連携、協力して推進していきたい。
- 問11 子どもは、自分の身の回りのことを自分でしている。
R3 78.3% R4 72.1% R5 79.8% (◎)
 「自分でできることは自分です」ことは、子どもが将来社会に出た時に、社会の中で役割や責任を果たすことの基礎をつくることになる。ささいなことでもできるようになったことを褒めて認めていくことを家庭・学校が連携して協調していく。
- 問12 子どもは、ルールを守る意識が育っている。
R3 88.0% R4 93.3% R5 91.9% (△)
 集団生活を通して、ルールやマナーを理解し、規範意識を育てられるよう、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいきたい。廊下の歩き方は重点的に指導したい。
- 問13 子どもは、先生、友だち、近所の人にすすんであいさつをしている。
R3 68.7% R4 80.7% R5 83.8% (○)
 肯定的な回答割合は昨年度より増加している。継続した挨拶運動の効果も出てきたものと思われる。「あいさつ」は、人と人とのつながりを深め、地域の連帯感を強めるとともに、「声かけ」は相手とのコミュニケーションを深め、思いやりの心を醸成することにつながる。今年度は会釈することも目標としていた効果もあるのではないだろうか。
- 問14 子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている。
R3 92.8% R4 94.3% R5 93.9% (－)
 肯定的な回答割合は9割を超えている。自らの主体性を尊重され大切にされた子どもは、自分も大切にし、友達の主体性も尊重し、大切にすることができる。友達との遊びや体験の中で、人と関わりながら、あいさつをする、自分の思いや考えを伝える、相手の思いを聞く、話し合うという「コミュニケーション力」、ルールや約束を守ろうとする（規範意識）、認め合う、友達を思いやる、自分の気持ちをコントロールしようとする「協同する力（社会性）」を育てていきたい。

問15 子どもと社会や将来のことを話し合っている。

R3 65.1% R4 70.1% R5 80.8% (◎)

肯定的な回答割合が大幅に増加している。コロナが5類に移行したことで様々な活動が再開されたり行動が解除されたことも要因であろう。家族との触れ合いは、児童が基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身に付ける上で重要な役割を担うものである。今後もふれあいの場や活動を進めていきたい。

問16 子どもは、学校のことをよく話してくれる。

R3 84.3% R4 79.9% R5 88.9% (◎)

子どもたちは人との関わりの中で多くのことを学ぶため、会話の場を持つことにより、より高い思考力や表現力、豊かな人間性等を身に付けるものと考え。今後は、家庭で児童との会話の時間を増やせるような話題づくりができるように努めていきたい。

問17 子どもは、楽しんで学校に行っている。

R3 86.8% R4 79.8% R5 87.9% (◎)

肯定的な回答割合が大幅に増えている。学校が楽しくなる要因には、学習の状況や人間関係等、様々なことが考えられる。わかる授業、楽しい授業を展開するとともに、これまで以上に家庭との連携を深め、一人一人の状況を把握しながら楽しい学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。

問18 子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている。

R3 91.6% R4 93.3% R5 96.0% (○)

様々な機会を通じて、家庭や地域、警察等の関係機関と連携を図りながら、安全教育に取り組んでいきたい。

問19 子どもと防災のことについて、家で話し合っている。

R3 68.7% R4 66.4% R5 78.8% (◎)

肯定的な回答割合が大幅に増えている。防災教育は学校だけでなく、家庭での話し合いが重要である。いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、家庭や地域と連携した避難訓練や防災教育等を行うことで、防災に関する意識を高めた。

問20 学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる。

R3 92.8% R4 83.7% R5 73.7% (×)

肯定的な回答割合が減少している。今回のアンケートで最も悪い結果と言える。全教職員で迅速で組織的な対応を図り、事案一つ一つに丁寧に対応するとともに、家庭・児童との信頼関係を構築していきたい。

問21 学校から、情報が十分発信されている。

R3 85.5% R4 74.1% R5 84.8% (◎)

肯定的な回答割合が昨年度より大幅に増えている。マチコミの導入の成果と言えるであろう。また、参観日や様々な行事等を通じて、本校の教育活動に対する保護者の信頼が十分得られるように努めていきたい。

問22 学校行事などに積極的に参加している。

R3 86.8% R4 88.4% R5 91.9% (○)

肯定的な回答割合は昨年度より増加している。問21「学校から、情報が十分発信されている」の関連項目であり、積極的に行事参加していただけるような情報発信に努めたい。

問23 子どもは進んで読書している。

R3 44.6% R4 45.2% R5 54.5% (◎)

肯定的な回答割合が大幅に増えたもののまだまだ低い。学校においても読書活動をさらに推進するとともに、家庭では、低学年では家の人の読み聞かせ、中学年では交互に読み合う、高学年では一緒に読書を楽しむなど、子どもの実態や家庭の状況に合わせて取り組んでいただけるよう、より一層家庭との連携を図りたい。電子書籍の導入も検討したい。

問24 子どもはテレビ、ゲーム、スマホ等の約束を守って使用している。

R3 51.8% R4 51.0% R5 60.6% (◎)

肯定的な回答割合が大幅に増えたもののまだまだ低い。普段から、保護者が積極的に子どもに声をかけ、コミュニケーションを図るとともに子どもが守れる具体的なルールを設定するなど、安全に賢く利用できる方法を考えていく必要がある。今後も保護者と連携を図りながら、情報モラル教育等に取り組んでいきたい。

問25 家庭では「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけている。

R3 80.7% R4 81.7% R5 79.8% (△)

児童の基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上をめざし、今後も、家庭との連携のためどんどん情報発信に取り組みたい。

問26 学校はPTAや地域と連携して開かれた学校づくりに努めている。

R3 93.9% R4 78.9% R5 91.9% (◎)

肯定的な回答割合が大幅に増えている。コロナが5類に移行したことが大きな要因であろう。本校における教育活動の成果を検証し、学校運営を改善することで、保護者、地域から信頼される学校づくりをより一層すすめていきたい。

問27 学校は子どもの安全確保、健康管理のための取組を行っている。

R3 96.4% R4 88.5% R5 90.9% (○)

教育活動全体を通じて、安全教育、健康教育を推進するとともに、保護者、地域との連携や情報交換を密にし、児童が安心して学校生活を送れるように取り組んでいきたい。

問28 子どもは週末読書しようとしている。

R5 40.4% (新規)

本年度、新たな追加項目である。週末には、本を持ち帰りしているが、まだまだ浸透していないと言える。新たな方策を講じたい。

問29 子どもは毎日運動をしようとしている。

R5 66.7% (新規)

本年度、新たな追加項目である。次年度からの参考にしたい。